

(参考様式4)

事業活用活性化計画目標評価報告書

計画主体名	計画主体コード	計画番号	計画期間	実施期間
栃木県	90000	1	平成21年度～ 平成25年度	平成21年度～ 平成25年度
活性化計画の区域				
栃木県全域				

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値A	実績値B	達成率(%) B/A	備考
地域農産物(米粉用米)の 販売量の増加	3,854.61 %	3,620.92 %	93.94	生産製造連携計画に基づいて生産された米粉用米の集出荷量の増加率 (5カ年の合計数量)

(コメント)  
 米粉処理加工施設の整備により、計画的に米粉用米の作付拡大を図ってきた。東日本大震災以降、原発事故による風評被害や、米粉製品の需要の伸びが鈍化したことから、目標値には届かなかったものの概ね目標が達成された。  
 今後も新たな米粉を活用した商品開発や、米粉を活用した商品の定着により、米粉用米の作付定着に結び付くことが期待される。

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	事業内容及び事業量			事業実施主体
農林水産物処理加工施設	平成21年度：米粉処理加工施設 (気流粉碎設備、胴搗粉碎設備) 平成23年度：米粉処理加工施設増強 (混合調整設備、包装充填設備)			日の本穀粉(株)
農林水産物処理加工施設	平成21年度：米粉処理加工施設 (気流粉碎設備、ロール粉碎設備、集出荷貯蔵施設) 平成23年度：米粉処理加工施設増強 (精米設備、混合調整設備、包装充填設備)			(株)波里
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日	
日の本穀粉(株)	平成21年度 平成23年度	平成21年度 平成24年度	平成22年3月28日 平成24年6月27日	
(株)波里	平成21年度 平成23年度	平成21年度 平成23年度	平成22年4月1日 平成23年3月31日	
事業の効果				
米粉処理加工施設整備・増強により、新たな用途・需要に対応した米粉の生産が可能となり、米粉・米粉製品の生産が拡大した。これにより、米粉用米の作付推進が図られ、地域農産物の販売量が増加し、生産者の意欲向上や地域の農業振興が図られた。				

### 3 総合評価

(コメント)

本事業の導入により、県内の米粉用米の作付定着が図られた。  
主食用米の消費が減少する中で、米粉用米の作付定着は、本県農業の生産基盤である水田の有効活用に大きく寄与するものであり、今後も米粉製品の用途開発や消費拡大による米粉用米の需要拡大を期待する。

### 4 第三者の意見

(コメント)

米粉用米の生産が可能となったことで、不作付地の解消や水田の有効活用につながり生産農家の所得確保・意欲向上や地域の農業振興が図られている。  
今後とも、土地利用型農家の担い手確保や集落営農の安定に結びつくよう、米粉用米の需要拡大に結び付く取組の継続をお願いする。